

CONTENTS

- 2 キラリ輝く奥州人
- 3 栄冠を手にした選手の横顔
— 第61回県中学校総合体育大会 —
- 8 行革の目指すカタチ
- 10 奥州三大マラソン大会
- 11 食中毒にご用心
姉妹都市 掛川だより
- 12 I L C 希望のひかり
- 13 結 -ゆい-
- 14 奥州の夏まつり グラフ
- 16 まちづくり探訪
- 17 市政ズームイン
- 18 まちの話題
- 20 夢トーク
青春讃歌
- 21 雨の日も晴れの日も
市長コラム「おうしゅう羅針盤」
- 22 我が家のアイドル
子ども喜ぶ人気メニュー
- 23 子そだて広場
子そだて行事予定
- 24 情報あらかると
- 28 奥州遺産

地域の個性が
ひかり輝く
自治と協働のまち
奥州市

キラリ輝く **奥州人**

人間性豊かな
テニスプレーヤーを育てる

高橋浩也さん（38歳）
〓 前沢区古城字幅下 〓



団員一人一人に目を配ってのボール出し。たまに檄が飛ぶ

煌々（こう々）と明かりがともる前沢いきいきスポーツランドテニスコートに、ボールを追う子どもたちの声が響く。前沢ジュニアソフトテニススポーツ少年団で指導に当たる高橋浩也さんは、ナイター練習で団員と共に汗を流す。

高校の時からソフトテニスを始めた浩也さん。卒業後も、会社勤めの傍らソフトテニスを続け、今でも各種大会に出場している。

平成22年夏、恩師でもある前沢いきいきスポーツランドの及川浩行所長の勧めもあり、同団を指導することに。浩也さんは「ジュニアの世代から協会とのつながりを作りたい」と自らの役割を語る。

現在、9月に開催される「全国小学生ソフトテニス大会県予選」に向け、週3回の指導に情熱を傾ける浩也さん。「プレーだけでなく礼儀もきちんとさせたい」と力を込める。「ソフトテニスを続けて中学、高校で活躍してほしい」と団員に期待を寄せる浩也さんは「このスポ少から国体選手を育成できたら——」と目を輝かせていた。



たかはし・こうや◎昭和51年、前沢区古城生まれ。NPO法人前沢いきいきスポーツクラブ勤務。市ソフトテニス協会前沢支部の事務局を担う。家族は、父、母、祖母と愛犬のラン（メス）。花嫁募集中

〈今月の表紙〉



江刺区にある「ヒロノ福祉パーク」の夕闇に浮かんだやわらかな光。同パークで8月2日に開催された「2014夢灯りin江刺」では、その幻想的な雰囲気の中で、多くの市民が夏の夕べを楽しみました。市民が一つ一つ手作りした「夢灯りスタンド」。それぞれの願いをとおしびに変え、会場を温かく照らしました。

おばあちゃんの作品を目当てに、水沢区羽田町から来場した佐藤琳ちゃん（9）と唯斗くん（6）の姉弟は、夢灯りを見て回りながら「とってもきれい！」と穏やかな笑顔を見せていました。【関連記事：19ページ】



前衛でボールに食らい付く千葉亜美選手（前沢中ソフトテニス女子）

栄冠を手にした
選手の横顔

ソフトテニス団体で
前沢中がアベック優勝
の快挙

— 第61回 県中学校総合体育大会 —



優勝を決め、喜びのハイタッチ（前沢中ソフトテニス男子、小野寺翼・鈴木達也両選手）

県中学校体育連盟の主催で、7月18日から21日までの4日間「第61回県中学校総合体育大会」が行われました。大会を振り返ったの思いや今後の抱負を、優勝した選手が話してくれましたので、ここで紹介します。それぞれの競技で、最後の夏に懸けて熱戦を繰り広げた選手たち。皆さんの今後の活躍に期待が膨らみます。